

地域の課題解決のための活動報告

記入日：令和02年6月18日

作成者：阪上 邦子

地域の課題解決のために行った活動を1つ選び、できるだけ具体的な数値を挙げて報告してください。すべての項目に、一般の人に伝わりやすいようにご記入ください。

*この報告はあしや市民活動センターのホームページに掲載されます。

(登録を公開している団体のみ)

団体名	
日本現代作法会芦屋支部	
事業名	日時(期間), 場所
伝統文化子ども作法教室	R01.6月~R02.1月 芦屋市民活動センターほか
内容(実績) *実施したことを具体的に	受益者数
第1回目: 立ち姿・かけ姿・お辞儀のしかた・あいさつことば	(5) 人
第2回目: お茶碗とお箸のあつかいかた	
第3回目: お墓まいのしかた・お線香のあつかい	参加者数 (約332) 人
第4回目: ふろしきってなあに?	
第5回目: ふろしきで包んでみよう!	
第6回目: お茶と和菓子のいただきかた	
第7回目: 神社でのお参りのしかた	
第8回目: 年末年始の行事とあそび	
第9回目: 自己紹介のしかた	
第10回目: 保護者への発表会	
成果(社会へのインパクト) *どのような良い変化を社会にもたらしたかを具体的に	
第1回目から10回目まで、一貫して日本の伝統文化である作法の心と実技を指導した。日本の美しい文化であるおじぎは、全回を通して身に付くよう繰り返し繰り返し練習した。その結果、素晴らしい立ち姿やおじぎが身に付き、家族や地域の人たちに上手に挨拶ができるようになった。 また、日本の伝統的な風呂敷や遊び道具、和食器などを実際に使い、使い方やしきたりを学んだところ、家庭での話題が豊富になった。	
今後の展望(どのように継続、発展するか)	
毎年文化庁の「伝統文化親子教室事業」に応募、申請し、継続させていき、日常生活における日本の美しい伝統文化の素晴らしさを広めていきたい。 芦屋の子供たちが、日本中の人たちが知っている「芦屋」のネームバリューに負けないよう、素敵なマナーを身に付け、「さすが芦屋」といわれるようになってほしい。 また、素晴らしい大人になるための基盤づくりに貢献していきたい。	